解　説

第 ８ 章　　　エネルギー・上下水道

電力

電力需要量は増加、発電電力量は減少

電力調査統計によると、令和3年度の電力需要量(低圧、一般家庭向け)は2,055万MWhで、前年度に比べ0.2%減少しました。月別では1月がピークで、年間月平均の約1.5倍です。



[第8章1表より]

電力需要量(大阪府内)

また、発電電力量(全国)は、令和2年度は「新エネルギー等」、「ＬＮＧ」の発電量が増加したものの、全体では前年度に比べ2.0%減少と、減少傾向にあります。

発電電力量(一般電気事業用・全国)

［経済産業省　資源エネルギー庁「エネルギー白書2022」より］



再生可能エネルギー等

太陽光発電は10年間で約6倍に

　　大阪府環境農林水産部によると、令和3年度末現在の再生可能エネルギー(太陽光発電、廃棄物発電等)や分散型発電(コージェネレーション等)の導入状況は、太陽光発電が113万5千kW（住宅用51万kW、非住宅用62万5千kW）、廃棄物発電等が27万2千kW(うち一般廃棄物によるもの26施設、24万kW)、コージェネレーション等が55万9千kW(家庭用5万5千kW、事業用50万4千kW)です。

太陽光発電は、10年前(平成23年度)の約6倍です。

[第8章2表より]



太陽光発電導入量(累計)

上下水道

有収水量は逓減、下水道普及率・水洗化率は逓増

　大阪府健康医療部によると、令和3年度の有収水量(料金徴収の対象となった水量)は9億9,494万3千㎥で、前年度に比べ942万9千㎥(0.9%)減少と、僅かながら減少が続いています。

※　大阪府工業指数は、平成31年１月速報（3月公表）から基準年次を平成22年から平成27年に改定しました。(５年ごとに改定)

大阪府都市整備部によると、令和3年度の下水道整備状況は、普及率は96.9％、水洗化率は97.3%で、前年度に比べいずれも0.1ポイント上昇と、僅かながら上昇が続いています。

年間有収水量

※事業用有収水量、生活用有収水量は、当該用途での

契約をしているものの合計値



下水道整備状況

[第8章6、7表より]